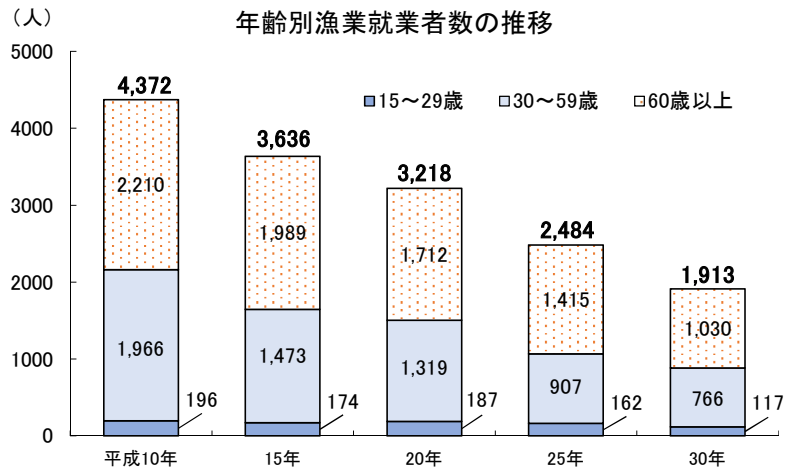


2. 漁業生産構造の動向

① 漁業就業者

平成30年の就業者数は1,913人で、平成10年と比べて2,459人(56.2%減)、前回センサス(平成25年)と比べて571人(23.0%減)減少した。年齢階層別では、29歳以下が117人(6.1%)、30歳～59歳が766人(40.0%)となっているが、60歳以上は1,030人で全体の53.8%を占め、高齢化が進行している。



資料：農林水産省「漁業センサス」

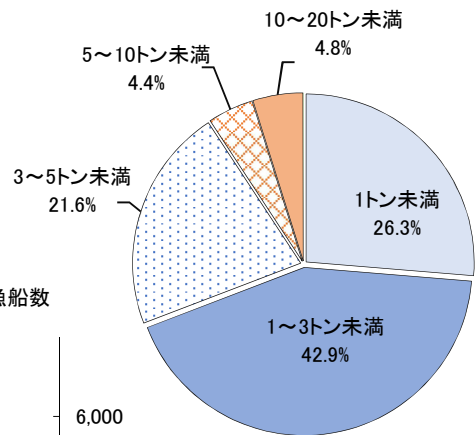
② 漁船隻数

海面漁業・養殖業に使用される漁船は、平成21年に6,000隻を下回り、それ以降も減少傾向が続いている。

令和5年12月末現在における本県の登録漁船数は4,044隻で、前年に比べて3.7%減少している。このうち最も隻数が多いのは1～3トン階層で、1,734隻(42.9%)を占め、次いで船外機を中心とする1トン未満階層が1,064隻(26.3%)、3～5トン階層が872隻(21.6%)となっている。

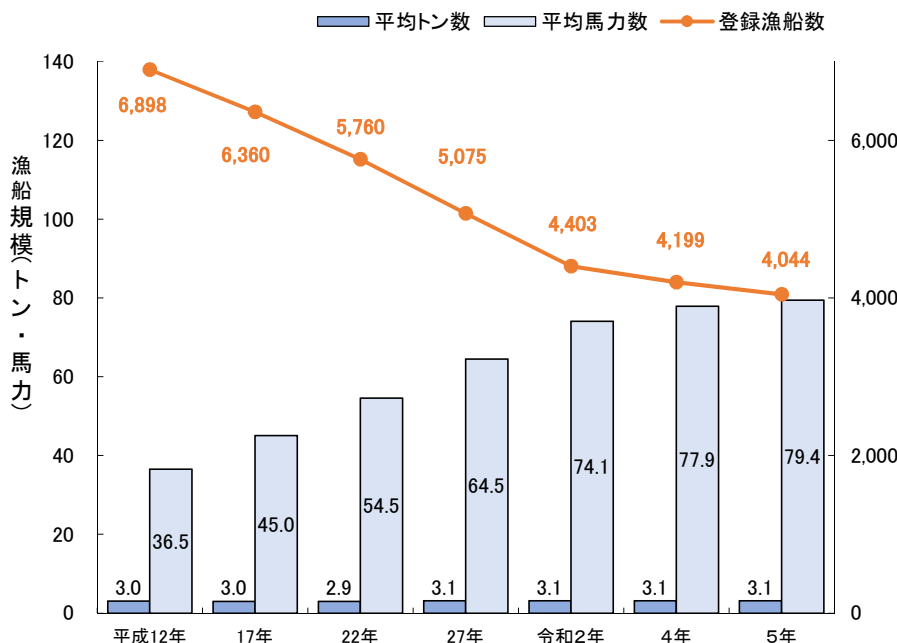
総トン数は12,550トンと前年に比べて3.1%減少した。1隻当たりの平均トン数は概ね横ばい、平均馬力数は微増であった。

漁船のトン数階層別構成比(令和5年)



資料：水産課調べ

漁船隻数・規模の推移



資料：農林水産省「漁船統計表 総合報告」、水産課調べ